

第2回研究会（11月28日）のおさらい

【まちづくりガイドラインのたたき台の提示】

- 七間町映画館跡地周辺地区（七ぶらエリア）でのまちづくりの進め方、共有すべき「エリアの特徴」、「空間づくりの考え方」などを記載した「まちづくりガイドライン」のたたき台を提示した。

【まちづくりガイドラインのたたき台をふまえた意見交換】

- 七ぶらシネマ通り繁栄会からは、「将来まちづくりへの提案として『上下水道局庁舎』内へ『水に関するミュージアム』的な機能を導入したり、周辺地区と連携したエコ散策ツアーをしたりなどを企画したい。」との意見が出た。
- ヨシコン株式会社からは、「まだ今後の跡地開発計画が固まっていないため、まちづくりガイドラインの内容に対して具体的に対応できるかは現時点では答えにくい。」などの説明があった。
- 上下水道局からは、「庁舎の計画が詳細に固まっていないが、行政としての制約がある中で、地元からの提案等に対してできることを考えていきたい。」との説明があった。
- このほか、地域関係者からは、以下のような意見があった。
 - ・「常磐通りや青葉通り周辺までつながるようなことを考えるべき」
 - ・「映画館の街であったことをどうつなげていくかが大事」
 - ・「今後、まちづくりガイドラインを作り、進めていく上では地元関係者がしっかりと体制をつくるのが大事」
- 遠藤さんからは、以下のような指摘があった。
 - ・「跡地開発を行う側に対して、建築デザインの話・協議などを行うのは全くオープンな場所では現実的に難しいので、場の設定の仕方が大事ではないか。」
 - ・「街のテーマは、『水か映画か』のどちらかではなく、うまく両方を重ね合わせることができるはず。また、テーマは、『施設や展示』として示す方法以外にも、まちを訪れるときのシナリオ・コースや、地区に関わっている市民活動などを通じても表現できるはず。」
 - ・「ガイドラインの役目として、それを示すことで、新たにその周辺に店や会社を出してみたいと感じさせることも重要。」

■ガイドラインの内容やその活用方法などについて、まだ各参加者が議論しにくい状況が見受けられたので、次回の会議に向けて、各主体の状況や今後への意向などを事務局がヒアリングするなどして、議論しやすいような準備をすることとなった。